

2010年4月5日

東京外国為替市場委員会 第131回会合 議事録

開催日時 2010年3月23日 13:00～14:00
場 所 日本銀行本店 新館9階中会議室
議 長 星野 昭
副 議 長 中野 北斗
副 議 長 梨本 忠彦
書 記 宮田 慶一
出席委員 20名

I. 委員・準委員の退任・再任

星野議長より、前波委員、熱田委員、内山準委員から今回の委員会をもって退任したいとの意思が示されたとの報告がありました。星野議長より、前波委員の後任として、以下の方から委員への立候補届けがあったとの報告があり、推薦人による推薦、立候補者による所信表明を経て委員による投票が行われ、下記候補者は全会一致で新委員に選任されました。他方、熱田委員の後任については、当面、選任を見送ることとなりました。

河野 文彦（野村証券）

また、星野議長より、内山準委員の退任に伴い、山本嘉樹氏（みずほコーポレート銀行）を新たに準委員とする旨提案があり、了承されました。

II. 東京外為市場における外国為替取引高サーベイ

中野副議長より、本年4月実施予定の「東京外国為替市場における外国為替取引高サーベイ」について調査方法を改めるべく、3月15日に調査協力先を日本銀行に集め、説明会を行った旨報告がありました。

また、星野議長より、3月中旬に金融先物取引業協会を訪問し、為替証拠金取引の市場規模を把握すべく、今後、調査の進め方等につき協働して検討させて頂きたいと提案した旨報告がありました。

III. 金融規制に関する情報交換

葛原準委員より、米国における金融規制改革法案の審議状況について、今のところ、金利スワップおよびクレジット・デフォルト・スワップが中央清算機関（CCP）における清算対象として義務付けられる方向で議論が進んでいるとの報告がありました。同法案の成立は年後半になる見通しながら、上記の議論を踏まえ、米国では既に、金利スワップおよびクレジット・デフォルト・スワップにつき、CCP による清算を積極化する動きが始まっているとの報告がありました。

また、葛原準委員より、本邦における金融規制改革の動向について、3月9日に金融商品取引法等の一部を改正する法律案が閣議決定された旨報告がありました。同法案では、CCPの利用を義務付けられる店頭デリバティブとして、米国同様、金利スワップおよびクレジット・デフォルト・スワップが想定されており、為替関連の店頭デリバティブは今のところ規制対象にはなっていない、との報告がありました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿(3月23日現在)

<委員>

議長	○星野 昭	(三菱東京 UFJ 銀行)
副議長・市場調査小委員長	○中野 北斗	(みずほコーポレート銀行)
副議長	○梨本 忠彦	(パークレイズ銀行)
書記	○宮田 慶一	(日本銀行)
運営小委員長	○松尾 勝	(三菱 UFJ 信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS ディーリング・リソース・ジャパン)
教育小委員長	○前波 弘	(野村証券)
	○河野 文彦	(野村証券)
法律問題小委員長	○今西 晋嗣	(住友信託銀行)
Code of Conduct 小委員長	○好川 弘一	(BNP パリバ銀行)
決済小委員長	小松 淳	(みずほ銀行)
E コマース小委員長	○小池 正道	(三井住友銀行)
	北倉 克憲	(中央三井信託銀行)
	○小田川 正知	(ゴールドマン・サックス証券)
	熱田 龍一	(バンク・オブ・アメリカ)
	○宗川 雄視	(ロイター・ジャパン)
	○石川 昌信	(トウキョウフォックス上田ハーロー)
	大西 知生	(ドイツ証券)
	広田 泰司	(JP モルガン・チェース銀行)

<準委員>

	○野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
	○内山 一慶	(みずほコーポレート銀行)
	○山本 嘉樹	(みずほコーポレート銀行)
	○葛原 圭	(三菱東京 UFJ 銀行)
	○渡邊 明彦	(日本銀行)

<オブザーバー>

	○藤井 大輔	(財務省)
--	--------	-------

(注) 敬称略(順不同)。○は今回出席。